

Camera Report

カメラ・リポート

町 街

7日

心肺蘇生法を学び
救急医療を考えました

「救急医療週間」の初日に、東三河ふるさと公園で、「救急フェア08」を開催しました。

会場では、救急医療に対する正しい認識と理解を深めてもらうために、消防署員が、家族連れの来園者などに、心肺蘇生法やAEDの取り扱い方法を指導しました。また、救急資器材や高規格救急車、水陸両用災害対策車「ウニモグ」の展示も行い、救急医療の大切さをPRしました。

27日

暗闇に浮かぶ万灯に
天平ロマンを感じました

三河国分尼寺跡史跡公園で、三回目となる「天平ロマンの夕べ」を開催しました。

奈良時代の建築様式で復元された朱塗りの中門や回廊が、手作りの万灯に照らされ、暗闇に浮かび上がりました。また、かがり火に照らされた中門前では、躍山境おどりや浦安の舞、オカリナ演奏、雅楽と舞楽などが披露されました。訪れた人たちは、天平のロマンを感じるひとときを過ごしました。



10日

市民の皆さんを対象とした
「新市民病院建設説明会」を開催しました

市では、新市民病院建設予定地「八幡地区」の概要について、市民の皆さんを対象とした説明会を勤労福祉会館で開催しました。

十日と十三日の二日間にわたる三回の説明会には、市内全域から

延べ約四百人が参加しました。説明会では、これまでの経過や概要、平成二十三年十月までの着工、二十五年中の開院を目指した今後のスケジュールの説明を行いました。



9月



緊急地震速報受信装置のモデル事業として、御油保育園で受信装置を使った訓練を行いました。受信装置は、震度四以上の揺れが予測される場合に、予測震度と揺れの到達時間の警報が流れます。参加した園児は、警報音を聞くと、机の下にもぐり身の安全を確保し、保育士の誘導で、防災ずきんをかぶり園庭に避難しました。中部小・東部中学校でも、同様の訓練を実施しました。

11日 緊急地震速報受信装置を使った訓練を実施